

更新履歴

2020/01/11

- ・ドライバ
 - ・NRD データバッファを GVRAM/GVRAM 裏にも設定できるように修正中。
 - ・1 個の OPM のみを使用するオプションを追加。鍵盤表示ルーチン、及び仮想 OPM レジスタを含めるかをオプション化（ゲーム等への組み込みが多少楽に行えるようになった）。
 - ・減算ポルタメントで演算結果が 0 を下回った際に加算処理が実行されていたのを修正。
 - ・CSM 処理で TL=127 を書き込めるようにした。
 - ・トラック停止判定を修正。
 - ・D88MAKE.BAT で HuDisk.exe を使うように変更。
- ・コンパイラ
 - ・歌詞データ定義、@L コマンド、トラック W（ワークトラック）が使えなくなっていたのを修正。
 - ・NRDSEL ディスクイメージ作成で参照するソースファイルのフォルダを source 直下に変更。
 - ・NRDSEL ディスクイメージ作成でエラーログ (err.txt) を出力し、アセンブルエラーを検出するようにした。
 - ・MDPlayer のフォルダ設定が正しくない際に「内部エラー (14)」で落ちていたため、エラーチェックを追加して落ちないようにした。
 - ・「MDPlayer の場所を選択する」の表記を「MDPlayer の場所を設定する」に変更。
 - ・ファイル名に「&」や「|」を含む場合、hoot.xml の出力時にエンコードさせるようにした。
 - ・新しいファイル .MML 作成時のテンプレートを変更。
- ・セレクト
 - ・ソースファイルを source フォルダ直下に変更（併せて D88MAKE_NRD.BAT の内容も変更）。
 - ・容量削減のため、処理内容を見直し。
 - ・ドライバの修正に合わせて、同機能に対応（ただし歌詞表示機能を使用する場合は現状メモリ上にデータを置く必要がある）。
 - ・キーリピートに対応。
 - ・一度に全てのチャンネルのミュートを解除する機能を追加。
 - ・BIOS を使用するオプションを廃止。
 - ・TEXT.DAT/DEFAULT.PCG を修正。
 - ・すーぱーたーぼさん作の IPL/BIOS ROM 判定による機種判定ルーチンを追加。
 - ・ローレゾ時の画面モード指定の不備を修正。
 - ・その他いろいろ。
- ・補足
 - ・NRTDRV と NRDSEL でデータバッファの場所 /OPM の数の設定を合わせる必要があるので、OPTION.ASM を新設しました。
 - ・それに伴い、NRTDRV.ASM と NRDSEL.ASM（一式）を同じフォルダにしています。
 - ・X1turbo 専用か否か / ディスクモードは NRDSEL 側だけの設定なので、D88 MAKE_NRD.BAT や NRDSEL_MAKE.BAT 内のアセンブル時に指定しています。

2018/07/15

- ・ドライバ
 - ・CTC0/3 の設定値・変更値を保存するように修正。
 - ・OPM 書き込み処理を若干高速化。
- ・コンパイラ
 - ・NRDSEL ディスクイメージ作成処理を変更。HuDisk(hudisk.exe) を使用し、2D/2DD/2HD のイメージの作成に対応。

- ・バージョン表記を修正。
- ・セレクト
 - ・全面的に書き換え。以下、主に改善、もしくは仕様変更した部分のみを記述。
 - ・ディスクリード部をすーぱーたーぼさんが AX-5 用に作成されたルーチンをベースにしたものに入れ替え。読み込み速度が格段に上がりました。ありがとうございます！
 - ・ドライブの接続チェック処理を変更。起動時に繋がっていることが確認できたドライブのみを確実にアクセスするようにした（従来は 0 ドライブと 2 ドライブが存在していて 1 ドライブがない、というような場合に対処できていなかった）。
 - ・演奏時間表示を高速化。従来は最大 1092 分 25 秒まで表示可能でしたが、99 分 59 秒までに変更。
 - ・レベルメーター表示等を高速化。
 - ・使用するファイル名の大文字・小文字を区別しないように修正。
 - ・ResetMask モードを廃止。常にトラックマスクを有効にしました。
 - ・CTC0/3 の値、レベルメーターの感度、ドライバ/セレクトのバージョンを表示するように修正。
 - ・CTC が存在しない環境の場合、起動しないように修正。
 - ・高解像度モード時のみ歌詞表示を行うように変更。
 - ・漢字表示時の BIOS 利用を廃止（オプションで BIOS 利用もできるようにしてあります）。
 - ・自動演奏モード時の規定ループカウントを変更できるように修正（1～9 まで）。
 - ・テンポ変更機能を追加。
 - ・2D/2DD/2HD に対応。
 - ・ファイルリストを GVRAM 上に保存するように変更。
 - ・PSG(AY-3-8910) と SSG(YM2149) の判定処理を追加。判定結果に従い表示を切り替えるように修正。
 - ・NRDSEL.OPT（オプション設定ファイル）を廃止。
 - ・その他、いろいろ。

2018/03/05

- ・コンパイラ
 - ・@L コマンドで、ダブルクォーテーションによる歌詞データ名の指定ができなかったのを修正。
- ・セレクト
 - ・一部のエミュレータで起動しなくなっていたため、その修正。

2018/03/03

- ・ドライバ
 - ・トータルカウントを出力するようにした。(293 さん)
- ・コンパイラ
 - ・NRDSEL 用の歌詞データ定義、@L コマンド、トラック W（ワークトラック）を新設。@L<inst>:<str> で 1 行分の歌詞データを定義し、トラック W で @L コマンドと休符を併用すると、@L コマンドを実行したタイミングで任意の歌詞を表示できる。
 - ・カウントビューアにトラック W を追加。
 - ・#Q_MODE ヘッダで 1 か 3 を指定した際、ドライバ側のクオンタイズ無効化フラグを立てるようにした。
- ・セレクト
 - ・turbo 対応、turbo 以降専用の漢字テキスト VRAM 描画による歌詞表示対応など、多岐にわたるので割愛 ^-^;(293 さん)
 - ・turbo 対応は、ディスク読み込み部分を DMA を使ったものに変更しています。
 - ・歌詞表示はテキスト VRAM 描画（turbo 以降専用の機能）なので、turbo 専用モードでないと歌詞表示はできません。
 - ・turbo 対応&歌詞対応はオプション化してあります。同梱の NRDSEL2D.BIN は両方とも有効になっていますので、ノーマル X1 では NRDSEL.OPT に定義している定数を変更して再アセンブルしてください（ご要望がありましたらコンパイラ上

の GUI で turbo 対応&歌詞対応の ON/OFF を設定できるようにしますので、ぜひ
ご意見などいただければ幸いです)。

過去の更新履歴はこちら